

# 令和 2 年 度 事 業 計 画 書

(令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

## 1. 書道文化の普及 (第 4 号事業関係)

・春敬記念書道文庫収蔵品の展示及び貸出を行い、書道文化の普及を広く行う。

- (1) 令和 2 年 4 月 29 日(祭日)開催予定のかな書道作家協会主催の「第 60 回現代かな書道専門講座」において、数点貸出す予定である。
- (2) 令和 2 年 8 月に開催予定の「第 72 回毎日書道展」の関西巡回展(大阪市)の特別講習会において数点展示する予定である。
- (3) 令和 3 年 1 月に開催予定の日本書道美術院主催の「第 75 回日書展」において、特別企画として『春敬コレクションによる「複製で観る古筆名品展」』が開催されることになり、本院所蔵の古筆複製数十点を展示する予定である。

## 2. 書道に関する展覧会の実施 (第 5 号事業関係)

### (1) 連合書道展、関東女流書展の実施

書道の奨励・育成を目的とした「第 71 回連合書道展 第 34 回関東女流書展」を令和 2 年 9 月 1 日(火)～9 月 8 日(火)まで東京都美術館において開催する。連合書道展の参加団体は 12 団体になる予定である。関東女流書展の出品者は、昨年は 197 名であったがその増加を図る。両展併せての総点数は約 700 点前後となる予定である。また、例年好評を博している席上揮毫は、9 月 6 日(日)午後 1 時より 24 名の揮毫者で開催の予定。

## 3. 書道専攻者の養成 (第 7 号事業関係)

### (1) 平安書道研究会の実施

日本書道史研究に必要な専門的内容を学ぶ平安書道研究会を、期間は令和 2 年 4 月(844 回)～令和 3 年 3 月(855 回)まで、東京国立博物館平成館講堂を主会場にして開催の予定。講師陣は、池田和臣先生(中央大学名誉教授)、笠嶋忠幸先生(出光美術館学芸課長)、高木厚人先生(大東文化大学教授・かな書道作家)、名児耶明先生(前五島美術館副館長)、及び四辻秀紀先生(徳川美術館特任学芸顧問)の 5 名である。また、臨書指導は、大賀晴苑先生、大林靖芳先生、慶徳紀子先生、棧敷東石先生、佐藤芙蓉先生、佐野玉帆先生、鷹野理芳先生、高橋孝春先生、松井玉箏先生、本橋郁子先生、渡辺貴彦先生等、日本書道美術院の重鎮の先生方のみならず外部の団体からの先生方にも加わってもらうべく計画中である。

### (2) 日本書道史研究講座の実施

日本書道史を体系的及び通史を中心に学ぶ日本書道史研究講座を令和2年4月～令和3年3月まで、東京国立博物館平成館を主会場にして開催の予定。

令和2年5月には、平成29年5月入学の第61期生37名が三か年の課程を終えて卒業の予定。卒業生には、特待生として引き続き留まってもらおうべく努力したい。なお、現在第64期の入学生を募集している。

### (3) 臨書実技講習会の実施

今年度で4回目となる「臨書実技講習会」を令和2年秋に開催する。受講生の反応としては、普段の講習では聞けないような内容が少人数での個別指導などにより、忌憚なく質問でき有意義であるというもの。受講生の期待も高まっている。スケジュールは下記の通りで計画している。

日時：令和2年9月27日（第四日曜日） 13:00～17:00

会場：未定

講師：主任講師 本橋郁子先生 副講師 大賀晴苑先生、渡辺貴彦先生

### (4) 平安書道研究会受講生への臨書作品募集と展示

平安書道研究会の受講生から臨書作品を募集し、第71回連合書道展で展示(出品34名)を行い、出品者からも観覧者からも好評であった。第3回として、今年度も実施する計画である。

## 4. その他

### (1) 「講師の先生を囲む会」の実施

第4回目となる「講師の先生を囲む会」を令和3年2月にも実施する予定である。平安書道研究会終了後、近くにある東京都美術館のレストランを会場にして実施する予定である。過去3回とも大変好評であった。毎回、受講生が60名近く参加し講師の先生方と和気藹藹の中、意見交換が行われた。新規の受講生拡大の一環としても効果が見込まれる。

### (2) ホームページの現状

令和2年6月よりホームページを立ち上げた。逐次、平安書道研究会の予告を行い、連合書道展に関しても開催予告及び事後報告を兼ねての情報をディスクローズしている。また、ホームページ上の問い合わせも少しずつ増えつつあり、受講者や受講希望者とのコミュニケーションツールとして定着しつつある。

(了)